

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所ベリー		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○訪問先施設評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ベリーやライムとの併用児が多く、園や学校と支援が統一しやすい。児発、放デイで行っている原始反射や療育整体など専門てきなアプローチができる	・必要に応じて支援ツールを作成し、視覚支援を訪問先でも取り組んでいただけるようにしている	訪問先の先生の話しをできるだけ聞きだすことで、支援のヒントや困っている本当の原因など気づけるようにしていく
2	・教職経験のある者が訪問支援員として活動しているため小学校関係者(管理職等)の理解が得られやすい	・管理職との話し合いや会話の時間をもち、現状を伝えるとともにこの事業に対する理解を得ている ・担任や担当の先生への助言に加え管理職への助言も行っている	・学校によっては担当の先生との話し合いの時間があまりとれないこともあるので、時間の取り方を工夫していきたい ・小学校の特別支援教育に携わった人材を訪問支援員として採用していきたい
3	・私立の子ども園、小学校の理解が得られており、保護者からの依頼に応えることができている	・学校関係者への事業所の周知、理解啓発を行った ・年長児が円滑に小学校への入学ができるような支援を行っている	・小学校や中学校への入学時にサポートシートを作成し情報の共有や、担当者会議の会議の開催をしていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	公立保育園、幼稚園、こども園の理解が得られていない	行政、園への周知、理解啓発の必要がある	こども課、子育て支援課との面談にて事業についての周知と理解啓発
2	ベリーやライムを併用していない児童等の利用を増やしていく	・保育所等訪問支援だけの利用ができる事を周知できていない ・保護者、児童に支援方法についての周知ができていない	・保育所等訪問支援だけの利用ができる事を関係機関へ周知する。 ・保護者や児童と面談することで関係構築を行っていく
3			